

神聖な三一の中で生きる (2)

神聖な三一の中で生きるのは、

キリストをわたしたちの命の供給として享受することによってであり、

キリストを生きてキリストを大きく表現することによってであり、

わたしたちの霊の中の主イエス・キリストの恵みによってである

聖書：ヨハネ 20:22. 6:57, 63. イザヤ 12:3-6. ペリピ 1:19-21 前半.

ガラテヤ 6:17-18. 啓 22:21

I. わたしたちが神聖な三一の中で生きるのは、キリストをわたしたちの命の供給として享受することによってです：

A. 主は復活の日に、聖霊（聖なる息）としてのご自身を、彼の弟子たちの中へと息吹き込みました（ヨハネ 20:22）。今やわたしたちは、神の息としての霊なるキリストを絶えず受けることができます。そして、わたしたちが主の御名を呼び求めることによって、主はわたしたちに対して豊かになることができます（哀 3:55-56. 創 4:26. ローマ 10:12-13. 詩歌 210 番）。またわたしたちは、神が息吹き出したものである神の言葉、聖書を吸い込むことができます（Ⅱテモテ 3:16）。神の語った言葉は命の霊の具体化ですから、わたしたちが霊を活用して彼の言葉を受け入れるとき、命であるその霊を得ます（ヨハネ 6:57, 63）。

B. 神のエコノミーにおける神の意図は、生ける水の源泉、源となって、彼の選ばれた民を満足させて、彼らの享受となることです。その目標は、召会を神の増し加わり、神の拡大として生み出して、神の豊満とならせ、神の表現とすることです——エレミヤ 2:13. 哀 3:22-24. I コリント 1:9：

1. わたしたちが復活の中で一つ霊を飲むことは、わたしたちをからだの肢体とならせ、わたしたちをからだとして建造し、わたしたちの用意を整えてキリストの花嫁とならせます—— 12:13. 啓 22:17. ヨハネ 4:14 後半。

2. わたしたちが喜んで救いの泉から水をくむことができるのは、主に対して、主によって、主のために、主の中で、主をもって、語り、歌って、主を高く上げ、絶えず主の中で歓喜することによってです——詩 46:4. イザヤ 12:3-6。

3. わたしたちは、絶えず主をもって語ることを実行することによって、主をわたしたちの霊的飲み物として享受することができます。そうすれば、自然にわたしたちは主を生きるようになります——民 20:8. ペリピ 4:6-7, 12。

C. わたしたちは、霊的食物としてのキリストを食べて、彼のゆえに生きることができます（ヨハネ 6:57）。キリストを食べることは、わたしたちの霊を活用して、彼の言葉を祈り読みし口ずさむことによって、彼の言葉を食べることです。それによって彼の言葉は、わたしたちの心の楽しみ、また喜びとなります（エレミヤ 15:16. 詩 119:15-16. ヨシュア 1:8-9）。キリストによって生きるだけでなく、キリスト「のゆえに」生きることの意味は、キリストの活気づける要素が、わたしたちがキリストを生きるための供給する要因になるということです。

II. わたしたちが神聖な三一の中で生きるのは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供

給によって、キリストを生きてキリストを大きく表現することによります——ピリピ 1:19-21 前半：

A. 信者たちは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給によってキリストを生きます。イエス・キリストの霊とは、命を分与する霊であるキリストです——ピリピ 1:19. I コリント 15:45 後半. II コリント 3:6：

1. この満ちあふれる供給は、神性、人性、十字架、復活、昇天、神聖な属性、人性の美德を含みます。
2. わたしたちが行なうあらゆることと、わたしたちの生活のすべては、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給によって出てくるべきです——ピリピ 1:19。
3. わたしたちは神聖な三一の神聖な分与の下で、自然に内側でキリストの供給を受けて、キリストを表現する生活をします—— 20-21 節前半。

B. パウロの生活と働きのすべては、自分自身を表現するためではなく、あるいは、自分の知識、能力、その他の長所や強みを表すためではありませんでした。彼が何であったか、また彼が何をを行なったかは、キリストを表現するためであり、さらにはキリストを大きく表現するためでした——ピリピ 1:20. 3:3-10. II コリント 4:5。

C. 使徒が体において苦難を受けたとき、キリストは大きく表現されました。すなわち、キリストは示され、あるいは告げ知らされて、偉大になり（制限がなく）、高く上げられ、ほめたたえられました——ピリピ 1:20：

1. 使徒の苦難は、キリストの無限の偉大さを表現する機会を、使徒に与えました——使徒 9:16. II コリント 6:4. 11:23. コロサイ 1:24。
2. いかなる環境の下でもキリストを大きく表現することは、最高の享受をもってキリストを経験することです——ピリピ 1:18. 4:23。
3. パウロはローマの獄に捕らえられていた時、キリストを大きく表現し、彼を監禁した者たちの目にキリストを大きく表しました。環境がどうであっても、パウロは喜びに満ちており、主の中で喜んでいました—— 1:4, 18, 25. 2:2, 17-18, 28-29. 3:1. 4:1, 4。
4. パウロが喜びの中でキリストを輝かし出し、キリストを表現したことは、キリストの無限の偉大さを宣げ知らせることであり、キリストが無尽蔵であることを宣げ知らせることでした——エペソ 3:18. 参照, イザヤ 9:6。

D. キリストを生きてキリストを大きく表現することは、命におけるキリストの救いにあずかることです。この中でわたしたちは、キリストを生きないという失敗から救われ、またキリストを大きく表現しないという敗北から救われます——ローマ 5:10。

E. 信者たちの模範としてのパウロが生きた生活は、キリストの超越性の中にある生活、最も卓越した神聖な属性を表現する最高水準の人性をもった、完全に威厳のある生活、何年も前に主ご自身が地上で生きた生活に似ていた生活でした—— I テモテ 1:16. 使徒 27:21-26. 28:3-6, 8-10。

III. わたしたちが神聖な三一の中で生きるのは、わたしたちの霊の中の主イエス・キリストの恵みによってです——ガラテヤ 6:18：

A. 日ごとに、驚くべき神聖な伝達が起きているべきです。神は、恵みの霊を満ちあふれるほどに供給しています。わたしたちは、絶えず恵みの霊を受けているべきで

す。それによって、彼はわたしたちの構成要素となることができ、わたしたちは彼の表現となることができます——ヘブル 10:29 後半、ヨハネ 1:16、ガラテヤ 3:2-5、

Ⅱコリント 1:12、12:9：

1. 恵みを受けて享受する道は、わたしたちの霊に戻り、わたしたちの霊を活用し、主に御座に着いていただくことです：
 - a. わたしたちは霊に戻ることによって恵みの御座に来る時はいつも、主に御座に着いていただき、わたしたちの内側で彼に頭首権、王権、主権を与えるべきです——ヘブル 4:16、ローマ 5:17, 21、コロサイ 1:18 後半、啓 2:4。
 - b. 神の御座は、流れる恵みの源です。わたしたちが主を御座に着けず、彼を御座から引きずり下ろす時はいつも、恵みの流れは止まります——22:1。
 - c. もしわたしたちが主イエスにわたしたちの内側で御座に着いていただくようにするなら、その霊は命の水の川として恵みの御座から流れ出て、わたしたちを供給します。このようにして、わたしたちは恵みを受け、恵みを享受します——1 節、詩歌 557 番。
2. わたしたちはイエスの焼き印を帯びるとき、キリストの恵みを享受します——ガラテヤ 6:17-18：
 - a. 霊的には、イエスの焼き印は、パウロが生きた生活の特徴を表徴しており、それは主イエスが地上で生きた生活と同じです。そのような生活は、絶えず十字架につけられており（ヨハネ 12:24）、神のみこころを行ない（6:38）、自分の栄光ではなく神の栄光を求め（7:18）、十字架の死に至るまでも、神に服従し、従順であるのです（ピリピ 2:8）。
 - b. もしわたしたちがイエスの焼き印を帯びて、十字架につけられた生活をするなら、わたしたちの霊の中でキリストの恵みを、命を与える霊の供給として享受し、神の恵みとしてのキリストを神の家族に供給します——3:10、Ⅱコリント 4:10-11、エペソ 3:2。
- B. 主イエスの恵みは、新約の時代を通して彼の信者たちの中へと分与され、新エルサレムにおいて究極的に完成します。新エルサレムは、神ご自身と人との結合、ミングリング、合併における神の大いなる喜びの究極的完成であり、彼の栄光に満ちた拡大と表現になります——啓 22:21、エペソ 2:10。